

就労

你（要）打的那份零工，安全吗？

～天下没有免费的午餐～

大家好！你们听说过“接手”这个词吗？在电话诈骗（敬请参照本刊第 19 期）等犯罪活动中，不法组织成员会被派定任务，据说负责打电话行骗的叫做“拨手”，负责从帐号里取款的叫做“取手”，而直接前去接受现金或物品的则叫做“接手”。

近来，发生了归国者第三代被高额报酬诱惑，因认为是合算的零工而去做，却不知不觉中充当了“接手”角色最终以诈骗罪嫌疑而被逮捕的事情。其中大多数是这样被卷入犯罪活动中的：

高中生等青少年为得到零花钱，用智能手机搜索打工信息，之后发现有面向中国人的汉语网站，上面写着“接收物品，短时可赚 6000 日元”，于是与其联络（近来“微信”取代了 QQ，即使没有电话号码但只要有帐号，就能随时连通网站。对于向“接手”派任务的犯罪组织来说，微信可以不留任何地址等蛛丝马迹，乃求之不得的联络手段），于是接到微信传来的信息，内容为：“〇〇市〇〇公寓〇〇号房间，房门为拨号式〇〇号”，让高中生前往指定地点，并在房间里等待宅急便业者拿东西来。由于事先被告知“只要在单子上签本来写着的名字即可”，于是物品来了以后，高中生便在单子上照葫芦画瓢，签了单子上的人名，并接收物品。跟给他派任务的人联络之后，对方指示高中生将物品拿到“〇〇站〇〇出口”，并在那儿与犯罪组织人员接头，交出货品之后对方给报酬。

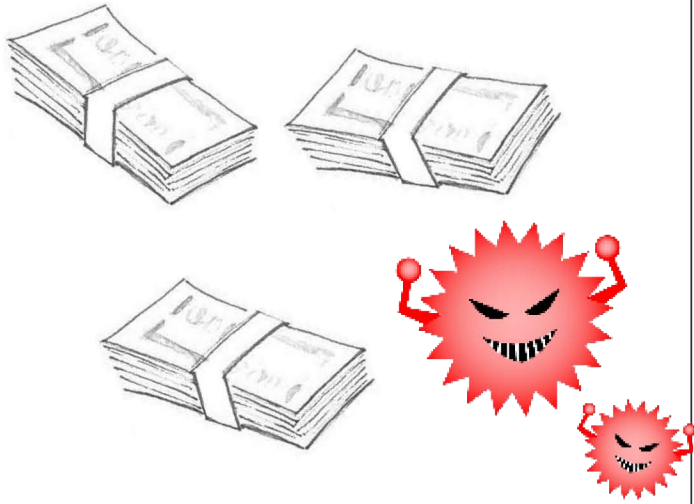
そのアルバイト、大丈夫？

～甘い話には罠がある～

皆さんは、「受け子」という言葉を聞いたことがありますか。振り込め詐欺(本誌19号参照)等の犯罪では、組織の中に役割分担があり、電話をかけて騙す役のことを「掛け子」、預金口座から現金を引き出す役のことを「出し子」、直接現金や荷物を受け取る役のことを「受け子」と言うそうです。

最近、帰国者3世代が、高い報酬に釣られ、割のいいアルバイトだと思ってやっていたら、知らない間にこの「受け子」になってしまい、詐欺罪で逮捕されるということが起こっています。多くは以下のようにして犯罪に巻き込まれています。

高校生等の少年が、遊ぶためのお金が欲しくて、スマートフォンを使ってアルバイト情報を検索。中国人向けの中国語で書かれたサイトで「荷物受け取り、短時間、6000円」というアルバイトを見つけ、連絡をとる。(最近、「QQ」に代わり「微信」というものがあり、電話番号がなくてもアカウントさえ持っていれば、自由に繋がるができます。「受け子」に仕事を流している犯罪組織側にとっても、所在等の情報が残らないので都合がいい連絡手段です。)そして「微信」で、「〇〇市〇〇マンションの〇〇号室。部屋の鍵はダイヤル式で〇〇」といった内容の返信があり、所定の場所に行くことを指示される。少年はその部屋で荷物の宅配業者が来るのを待つ。連絡票上に書いてある名前を書けばいいとあらかじめ言われているので、少年は荷物が来ると、連絡票に書いてある名前でサインし、荷物を受け取る。荷物を受け取ったことを連絡すると、「〇〇駅〇〇出口」に荷物を持って来るように指示される。その場所で組織の人間と接触し、荷物を渡し、報酬として現金を受け取る。



其后、受骗人报案，事情败露出去。被警方逮捕的少年得知自己所打的零工是一种犯罪行为后惊愕不已，然后为时已晚。无论怎么澄清“我不知道那是违法的”都被定刑为“诈骗罪”。千万要小心“只是接收一个文件，很简单的零工”，“只要开一个户头就可以得到〇万日元”，“只要用你的名义开通一个手机号码，我们就支付〇万日元的报酬”等语句，被高额酬金所吸引，抱着打一个零工的心情轻松接受对方指派，会造成无可挽回的后果。轻而易举就能赚很多钱的工作背后一定有陷阱，“天下没有免费的午餐”，这样的道理最好是平时就在家人之间相互确认。

归国者第三代的父母工作大都很忙，或许尤其很难与迎来青春期的子女面对面慢慢交谈，但是，孩子们或许也有着各自的烦恼，譬如“跟不上学校的课程”，或是“跟朋友相处得不顺利”等；或许在不知不觉中涉足了潜伏着危险的领域，所以，让我们有意在平时就营造一个易于交谈的环境，重视親子之间的相互交流！



その後、被害者からの通報で事件が発覚し、警察に逮捕された少年たちは、アルバイトでやったことが犯罪だったと知り驚愕します。しかし「時、すでに遅し」です。「犯罪だと知らなかった」と、いくら言い訳しても「詐欺罪」になってしまうのです。「書類を受け取るだけの簡単なバイト」「預金口座を作ってくれたら〇万円で買うよ」「君の名義で携帯電話を契約してくれたら〇万円を支払うよ」といったうたい文句に注意しましょう。多額の報酬に目くらみ、アルバイト感覚で安易に引き受けると、取り返しのつかないことになってしまいます。楽で簡単に高い報酬が手に入る仕事には必ず落とし穴があります。「甘い話には必ず罠がある」ということを日頃から家族間でも確認しておきましょう。

帰国者3世の親世代は仕事も忙しく、特に思春期を迎えた子どもとは、ゆっくり話をするのがなかなか難しいかもしれません。しかし、子どもたちも子どもなりに人知れず「授業についていけない」「友達と関係がうまくいっていない」等、悩みを抱えているかもしれません。本人も気づかないうちに危険な世界に足を踏み入れていることもあるかもしれません。日頃から、子どもたちが家族と話しやすい雰囲気作りを心がけ、親子のコミュニケーションを大切にししましょう。(Mo)

